



就職活動が本格化しています

9月5日に高卒新卒就職の応募が開始され、4年生の就職希望者は全員応募書類を発送しました。いよいよ今月16日から随時、就職試験が始まります。

今年度の4年生は、就職希望者が4名、産業技術専門校希望者が3名です。就職希望の4名は、夏休み中に会社見学に行き、登校して報告書と礼状を書き、応募先を決定して履歴書を作成しました。現在は毎日順番に面接練習を行っています。

就職に関しては「高校生は1人1社しか応募できず内定が出たら辞退できない」というルールがありますが、見学は何社でも可能なので、できるだけ複数行くよう勧めています。

今年度は、希望の条件に合う会社が1社しか見つからなかったり、複数見学すると迷ってしまって応募先を決められないということで1社のみ見学とした人もいますが、どちらも見学先をととても気に入ったとのことで、応募を決めました。

就職を希望する人は、必ず実際に会社を見学をした上で十分検討し、自分が働きたいと思えたら応募をするということが大切です。身なりを整えあらたまって1人で会社を訪問するのは緊張するし、事前準備や見学後の礼状作成などもあり、時間も手間もかかって大変ですが、ここでしっかり行動することで覚悟が決まり、自分の未来に前向きに向き合えるようになります。



4年生の4名は覚悟が決まったようです。就職試験にも残りの学校生活にも全力で取り組み、自分の未来を自分の手でしっかり切り開いて欲しいと思います。

想いを伝える

就職試験に向けて自分で最初に準備するのは履歴書です。履歴書には「志望動機」を書く欄があるので、「自分はどんな人間か」「なぜその会社で働きたいのか」など自分にしっかり向き合って文章にする必要があります。さらに就職試験で必ず課される面接でも「志望動機」と「自己PR」は自分の言葉で言えるようにしておかなければなりません。

就職試験は、自分に向き合い想いを伝えて乗り越えなければならない人生の一大一番です。

進学する人もいずれ就職するなら同様の機会がやってきますし、フリーランスになったり起業をする人も、仕事を請け負うたびに取引先に対して自分のことを伝える活動が必須になります。仕事を持つ自立した社会人にとって「伝える」行為はとても重要なのです。

就職試験の場面では、つぎの内容について、自分の気持ちを言葉で整理して、しっかりした想いを持って臨めるといいと思います。



わたしは
なぜこの会社に就職したいのか
なぜこの仕事をしたいのか
何が得意で何が苦手なのか
何が好きで何が嫌いなのか
この会社や世の中のためにどんな利益をもたらすことができるのか

「伝える」ためには、面接も文章も、相手に伝えたいという気持ちをどれだけ強く持つかが大切です。漠然と想うだけでなく、言葉にして頭でしっかり考えましょう。